

第2期川崎市ウェルフェアイノベーション推進計画の全体像

基本目標

産業と福祉の融合で新たな活力と社会的価値を創造するウェルフェアイノベーションの推進

取組の視点

視点1：「産業と福祉のハブ機能」として、「新しい製品・サービスの創出による市場活性化」と、「将来的な福祉課題への先行的な対応」を結びつける。

視点2：「新たなライフスタイル・ワークスタイルの創出」など、多様な人が混ざり合い地域で暮らすことのできる社会モデルを構築する。

視点3：「地域包括ケアやパラムーブメント施策を具現化する」ことにより、福祉を起点に医療・健康分野などへの波及も見据えた人の生活全般を豊かにしていく取組を進める。

3つの基本方針と15の行動計画・取組の概要

方針1 新たな製品・サービスの「創出」

将来的な福祉課題への先行的な対応を図るため、「産業と福祉のハブ機能」として産業界のシーズと多様化する福祉現場のニーズの融合を促進させ、最新技術活用を含め新たな製品・サービスの「創出」に向けた動きを促進する。

成果指標	(2015年度)	(2019年度)	(2021年度)
創出プロジェクト年間稼働件数	13件	15件以上	20件以上

※創出プロジェクト：将来的な福祉課題解決に対応する製品・サービスの創出に向けたプロジェクト

1 データプラットフォームの構築（データ活用による参入促進）

- ・行政データのオープンデータ化の推進
- ・他機関調査や市民ニーズなどの福祉課題のデータの見える化
- ・データ活用による参入促進セミナーの実施

2 アクションプラットフォームの構築（KIS理念に沿った共創型プロジェクト）

- ・多様な主体の参加による「アイデア創出プログラム」の実施
- ・多様な主体の参加による「共創型プロジェクトチーム」づくり
- ・福祉製品開発の拠点づくり

3 専門コーディネータ等によるKIS理念に沿ったプロジェクトへの支援

- ・サポートデスクの開設と専門的な知見を持つコーディネータによる支援
- ・デザインの活用による製品・サービスの魅力向上支援

4 KIS理念に沿ったプロジェクトへの開発費補助等の支援

- ・福祉製品・サービス開発支援補助事業、福祉製品開発資金融資事業
- ・開発費助成メニューの総合的な情報提供

5 最新技術等のシーズの活用を見据えた国、NEDO、大学等との連携

- ・ロボット、人工知能、ICT等の開発段階での活用
- ・製品・サービス開発に関する関係機関との連携の強化

方針2 新たな製品・サービスの「活用」

産業界で生み出された新たな製品・サービスを、福祉現場での「活用」を促すことを通じて、活用による新たな発見等による「価値の創出」に向けた動きを促進する。

成果指標	(2015年度)	(2019年度)	(2021年度)
活用プロジェクト年間稼働件数	8件	10件以上	10件以上

※活用プロジェクト：販売製品・サービスの活用により、新たな価値を蓄積していくプロジェクト

6 かわさき基準（KIS）認証による良質な製品の普及推進

- ・かわさき基準（KIS）による福祉課題に具体的に対応する製品認証
- ・認証製品の活用による新たな価値の蓄積と市場拡大に向けた支援

7 在宅での製品・サービスの導入促進

- ・生活支援機器モニター事業の実施
- ・生活支援を行う事業所との連携強化による新たな在宅ケアモデルの構築

8 施設での製品・サービスの導入促進

- ・施設向け福祉介護機器活用促進セミナーの実施
- ・福祉施設への出張キャラバン事業の実施
- ・施設内支援機器モニター事業の実施

9 KIS理念に沿った製品の導入・普及補助等の支援

- ・施設等への福祉製品導入促進補助事業
- ・製品開発企業等への福祉製品展示会等出展補助事業
- ・導入促進補助等支援メニューの総合的な情報提供

10 介護事業者への介護ロボットの重点的な導入コーディネート

- ・介護ロボット導入セミナーの実施
- ・介護事業所への介護ロボット導入コーディネート

方針3 将来を先取りする新たな社会モデルの「創造・発信」

製品・サービスの活用により生み出された「価値」を、住まい・移動・健康寿命延伸などのライフスタイルやワークスタイルの広範な領域にわたって、将来を先取りする新たな社会モデルとして創造・発信していく。

成果指標	(2015年度)	(2019年度)	(2021年度)
新たな社会モデル創造・発信件数	—	年1件以上	年1件以上

※新たな社会モデル：新たなライフスタイル・ワークスタイルなどを創造し発信している状態

11 新たな「住まい」モデルの構築に向けた製品・サービス活用による価値の発信

- ・在宅ケアモデルの構築に向けた「新たな住まいのモデル」発信
- ・住まいの基盤整備の着実な推進

12 円滑な「移動」環境構築に向けた製品・サービス活用による価値の発信

- ・円滑な移動環境構築に向けた移動支援製品・サービスの発信
- ・移動環境の基盤整備の着実な推進

13 「健康寿命延伸」に向けた製品・サービス活用による価値の発信

- ・健康寿命延伸に向けたヘルスケア産業の情報の集積
- ・精神的・社会的健康状態につながるヘルスケア産業の情報の集積
- ・ヘルスケア産業の健康寿命延伸に向けた効果の発信

14 新たな「ワークスタイル」構築に向けた製品・サービス活用による価値の発信

- ・高齢者・障害者就労などの働き方のモデル構築に向けた取組実施
- ・子育てや介護を行う状況にある方の働き方のモデル構築に向けた取組実施

15 ウェルフェアイノベーション川崎モデルの海外への展開の推進

- ・海外マーケットの分析と中小企業向け等への情報発信
- ・海外マーケット拡大に向けたPRと情報交流による施策の充実

ウェルフェアイノベーションを推進していく情報発信と体制づくり

新たな活力と社会的価値を創造していくプロモーション

- ・新たなライフスタイル・ワークスタイルなどの社会モデル構築に向けて、「知る・見る・聞く・触れる・実感できる」を切り口に、プロセスとアウトカムについてのプロモーション体制を強化する。
- ・社会との対話を図りながら、産業構造の転換や起業の促進を図る。

イノベーションを創出するフォーラムの場

- ・フォーラム参加者が相互に刺激し合い、新たなイノベーションが生まれるウェルフェアイノベーションフォーラムを運営する。
- ・関係機関との連携や広域的な自治体連携の取組を進める。

総合的な体制づくりと進行管理・評価

- ・庁内横断的な会議体の設置により、計画に基づく、事業推進の定期的な進行管理と、評価に基づく時代に即した新たな事業展開への柔軟な対応を行う。